

令和7年度鴨川市いじめ問題対策調査会 議事録

日時 令和8年2月4日(水)
午後2時から午後3時30分まで
場所 鴨川市役所天津小湊支所2階会議室

●出席者

○委員出席者

分野	委員氏名
医療	黒野 隆
心理	奈良 和子
福祉	上野 ひろ子 (欠席)
福祉	石塚 則子
医療・人権	志村 千鶴子

○教育委員会・事務局出席者

所属・職名	氏名
教育長	蒔苗 茂
学校教育課長	谷 智恵
事務局 学校教育課指導主事	川名 洋右

●傍聴 1人

●会議資料

- ・次第と資料(レジメ)
- ・委員名簿
- ・資料A 鴨川市いじめ防止対策推進条例・鴨川市いじめ問題対策調査会規則
鴨川市いじめ防止基本方針・鴨川市いじめ防止基本方針【概要版】
- ・資料B 鴨川市いじめ問題対策連絡協議会について

1 開会(午後2時)

2 挨拶

蒔苗教育長から令和6年度の全国、千葉県、鴨川市のいじめ認知件数の状況や本年度の鴨川市の児童生徒の様子の説明がなされた。

3 各委員の紹介

事務局から各委員及び教育委員会事務局職員の紹介がなされた。

4 会議の公開について

事務局から本対策調査会の会議の公開、議事録の作成及び傍聴規定等について説明、提案がなされた。委員からの質疑等は特になく、事務局の提案のとおり了解が得

られた。
傍聴人、入場。

5 鴨川市いじめ問題対策調査会について

事務局から、本対策調査会について説明がなされた。(資料A)
続けて、事務局から鴨川市いじめ防止対策推進条例第19条の説明及び鴨川市いじめ問題対策調査会規則の説明がなされた。

6 議事

事務局から、黒野会長が議長となり進行する旨の説明がなされた。
黒野議長が、奈良委員を議事録署名人に指名した。

(1) 鴨川市いじめ問題対策連絡協議会の報告について

事務局から1月16日に開催された鴨川市いじめ問題対策連絡協議会の報告がなされた。

- ・黒野議長から、ネット上のいじめは学校だけではなく、家庭にも大きく関わる深刻な問題であり、市ではネット上への対策がよく練られていると意見があった。
- ・志村委員から、いじめの認知数に関して差があるのかと質問がなされた。
- ・川名指導主事から、いじめの認知数に関して児童生徒数が多い学校は、認知数は多くなるが、いじめが全くないという学校はなく、どの学校もいじめが認知されていると説明がなされた。
- ・蒔苗教育長から、以前よりいじめの定義が大きく変わっており、認知件数が増えたことについての説明がなされた。
- ・奈良委員から、本市のSNS上のいじめの現状と対策についての質問がなされた。
- ・川名指導主事から、本市でも他地域と同様SNS上は増えてきており、高学年から中学生が中心であると説明がなされた。また、発見が難しく教職員もアンテナを高くして指導にあたっていると説明がなされた。対策については、全学校で行う情報モラル教室や保護者会等で、ペアレンタルコントロールやフィルタリングへの協力を呼びかけているとの説明がなされた。
- ・谷学校教育課長から、市で進めている1人1台端末を使い子どもたちのSOSをキャッチするシステムや学校で行われているSOSの出し方教育について補足説明がなされた。
- ・奈良委員からは、その際アンケートは匿名のでの回答も可能にしてほしいとの意見がなされた。

(2) 鴨川市が実施するいじめ防止等の対策について

事務局から市が実施する対策について、以下の説明がなされた。
・いじめ問題対策調査会、いじめ問題対策連絡協議会の設置の他、各種施策、相談

体制の充実について

- ・いじめの防止、早期発見のための対策について
 - ・毎年4月のいじめ防止月間における広報かもがわへの記事掲載など、市民に向けた啓発について
 - ・各学校が実施する対策についての具体的な内容と保護者の役割、市民の役割、重大事態への対処について
 - ・各種関係機関との連携について
- ・奈良委員から、いじめに関するアンケートについての質問がなされた。
- ・川名指導主事が、年3回以上、紙でのアンケートで行っていると説明がなされた。
- ・奈良委員から、紙でのアンケートだけではなく、子どもたちの最近の傾向も考え、デジタルフォームを使ったアンケートも取り入れて良いのではないかとの意見がなされた。
- ・奈良委員からスクールカウンセラーの活用に関する質問がなされた。
- ・川名指導主事から、児童生徒数の多い学校は希望面談のみだが、10校中8校は全校面談が実施された。規模の大きい2校も希望者は面談できていると説明がなされた。一方で、希望者が多く、即日面談ができないケースがあることの補足もなされた。
- ・志村委員から、アンケートの結果をどのように情報共有しているのかという質問がなされた。
- ・川名指導主事から、アンケート結果はすべて学校から教育委員会に報告がなされ、内容を共有していることが説明がなされた。
- ・谷学校教育課長から、アンケートについては校内でも管理職がそれぞれすべてをチェックし、対応に当たっていると補足説明がなされた。
- ・石塚委員から、人権教室の中で子どもたちはいじめは悪いことだと全員が思っている。しかし、感情の行き違いでいじめが起きていることを残念に思っている。先生方の対応の難しさも感じており、関係機関の協力、連携が不可欠であると意見がなされた。
- ・奈良委員から、スクールサポーターの制度についての質問がなされた。
- ・川名指導主事から、警察官OBが学校に派遣され、いじめ、非行など問題行動に対応する制度で、校内巡回や安全確保を目的に校内で活動していると説明がなされた。
- ・質疑ののち、鴨川市が実施するいじめ防止等の対策について、承認された。

(3) その他
特になし

7 諸連絡

・川名指導主事から、次年度の開催日程について説明がなされた。

8 閉会（午後 3 時 30 分）

・黒野議長は、一切の終了を告げ、閉会を宣言した。

鴨川市附属機関等の会議の公開に関する実施要領第 7 条第 3 項の規定により、議事録の内容について確認しました。

令和 8 年 3 月 4 日

奈良和子
